

国道与那原バイパス整備事業 凍結解除へ要請

国土交通省が国道329号の与那原バイパス整備事業を凍結したことを受けて、町議会（城間信三議長）は4月10日、臨時議会を開き、凍結解除を求める要請決議を全会一致で可決しました。議会後、上岡町長と町議会の全議員は、沖縄総合事務局を訪れ、森田悦三次長に各々要請書を手渡しました。

要請書を概略すると以下のとおり『与那原バイパスは、国道329号与那原交差点の慢性的な交通渋滞解消と県のマリンタウンプロジェクトの支援も併せて整備が進められてきた。同事業は用地買収が68%も完了し、既存市街地の一部は既に道路整備がされ、供用開始されている。本町はマリンタウン地内の土地分譲を与那原バイパスの開通を見据えて、企業誘致や住宅分譲等をすすめてきており、同地内にオープンした西原マリンパークには、この2年間で63万人余の利用者が訪れている。国道329号の交通混雑は増し、同事業の重要度は益々高くなってきていることから、一方的な凍結には容認できない。凍結解除及び早期着工されるよう強く要請する』



『支え合いと協働で、地域福祉の推進を図ろう』をスローガンに、「第13回西原町社会福祉大会」（町社会福祉協議会主催）が3月18日、町中央公民館で開かれ、町の社会福祉の振興に多大な貢献をされた65名と34団体が表彰されました。平安恒政会長は「共助の支え合い活動による福祉サービスのシステムづくりを、福祉関係者、地域住民、行政との協働で構築しなければならない」と述べました。被表彰者を代表して、渡久山勇さんが「それぞれの立場で、自分でできる範囲で率先して行動を示していかなければ」とあいさつしました。

本町の社会福祉に貢献した方を表彰



まちの話題

障害者計画 『ほのほのプラン2009』を答申

町障害者施策推進協議会（神里博武委員長）は、昨年12月に諮問のあった西原町障害者計画・西原町障害福祉計画案について3月23日、上岡町長に答申しました。同計画は、障害者福祉全般の計画と障害福祉サービス見込や地域移行目標値を掲げる『第2期障害福祉計画』を一体的な計画書としてまとめ、行政、住民、関係機関など地域全体での支え合いによる町の障害者福祉環境の向上を目指すために策定。神里委員長は「広く障害者の生活にかかわる施策、障害者が住みよいまちづくりを示している」と述べ、上岡町長は「障害者が住みなれた地域で生活できる施策が網羅されており、町としても推進すべく取り組みたい」と話していました。



西原東中男子バレー部がアシックス カップ九州バレー大会で優勝!

「アシックスカップ第26回九州中学校バレーボール選抜優勝大会」（3月27日～29日・鹿児島県）で、西原東中学校の男子バレー部（我那覇宗芳監督）が14年ぶりに見事優勝を果たしました。同部は3月31日、町教育委員会を訪れて優勝を報告し、垣花教育長は「九州で勝つことは大変だが、見事応えてくれた。学校、町にとっても誇りに思う」と祝いの言葉を述べました。貝志堅薫キャプテンは「周りからの応援があったからこそこの優勝。監督やコーチ、先生達を信じてやってきて頂点にたてた」と話していました。



町地域新エネルギービジョン策定会議の新里隆男委員長は、太陽光発電など新エネルギー導入のあり方を検討した「西原町地域新エネルギービジョン策定調査報告書」を3月3日、上岡町長へ提出しました。公共施設や学校等に新エネルギーを積極的に導入し、子どもたちの環境・エネルギー教育に役立てるとともに、一般家庭や事業所にも導入を広めていく方針が定められました。上岡町長は「報告書を活用し、提案を実行できるような町民、事業所と連携を図っていきたい」と話していました。

西原町の新しいエネルギーを模索



キリスト教学院大が 学校の授業を支援します

3月16日、町教育委員会は、沖縄キリスト教学院大学・短期大学（ランドルフ・スラッシャー学長）と地域連携事業に関する協定書を結びました。主な連携事業は①理科教育支援②保育支援③英語学習支援④公開講座及び地域文化講座⑤学生の教育実習及びインターンシップを予定しており、実施可能なものから推進。垣花教育長は「子ども達の学力向上のために、学校と大学、町民となお一層の連携ができる」と述べ、スラッシャー学長は「力をあわせて新しい沖縄、西原のために、実りあるプログラムを一緒に考えよう」と語りました。理科教育支援事業に関する覚書も交わし、4月からは町立4小学校を対象に、理科教育支援が実施されます。



「第2回小波津ジャガイモスープ」（小波津自治会主催）が3月8日、小波津集落センターで開かれました。この催しは、ジャガイモの大きさを競うことにより、農産物生産の意欲を高め、自家栽培と農地活用を促進することが目的。1個の重さを競う部では680gの小波津吉和さんが、10個の重さを競う部では、5,600gの小波津盛光さんが優勝しました。

小波津自治会が
ジャガイモスープ（競争）を開催



坂田交差点に 花と緑あふれる花壇が登場

町婦人連合会（来間紀子会長）は、美化活動の一環として、1月から3月まで5回にわたって、坂田交差点の交通島を花壇にする美化作業を行いました。花壇にはトラノオをメインに、会員が持ち寄った花や地域の方から提供のあったベゴニアなどが、きれいに植えられました。来間会長は「緑化推進により、那覇方面からの玄関口である坂田交差点をきれいにし、西原町のイメージアップを図りたい」と話していました。



那覇バプテスト協会が ボランティア清掃

夕暮れ時も安心して歩けるようにと、那覇バプテスト教会（国吉守主任牧師）の壮年会・女性会・青年会の会員33名が3月29日、清掃活動をしました。同教会近く（字幸地）の県道29号線沿いの歩道のゴミ拾いと草刈りを実施。街路樹の周りもすっきり綺麗になり、車道からの見通しがよくなりました。

